

周辺の遺跡

● - 弥生時代・古墳時代などの遺跡 S=1/70000

- 1. 琴平遺跡 2. 柳遺跡 3. 坊主山遺跡 4. トンガ坊城遺跡 5. 高谷古墳
- 6. 山田古墳群 7. 丸子山墳墓群 8. 南原遺跡 9. 九品寺北古墳群 10. 九品寺南古墳群

第29回青空ミュージアム in
こと ひら い せき
琴平遺跡
(広島市安佐北区大林町)

これまで可部バイパス建設工事予定地内では、トンガ坊城遺跡(弥生時代終末の集落跡・中世の山城跡)、坊主山遺跡(弥生時代後期の集団墓地)、柳遺跡(弥生時代後期の集落跡)の3つの遺跡が調査されてきました。今回の琴平遺跡の調査は、工事予定地内での最後の発掘調査となります。



上空から見た遺跡 (北から撮影)

琴平遺跡発掘調査に関するお問い合わせ
財団法人広島市文化財団文化科学部文化財課
〒732-0052 広島市東区光町二丁目15番36号 TEL(082)568-6511 FAX(082)568-6513
ホームページ <http://www.mogurin.or.jp> メール hbb@mogurin.or.jp

はじめに

琴平遺跡は、根の谷川とその周辺を見渡せる標高約145mの見晴らしのよい尾根の上に位置します。遺跡には最近まで小さなお社（琴毘羅社）が建っていました。このお社を建てる時に鉄刀が出土し、出てきた石材を神社の礎石等に使ったと伝えられることから古墳があると考えられていました。

今回の発掘調査では、すでにお社を建てる際に尾根の上が造成されていることから、古墳の跡は確認できませんでしたが、弥生時代のものと考えられるお墓が18基確認されました。



出土した遺物

琴平遺跡からはほとんど遺物が出土していません。わずかに表土中から弥生土器片3個と須恵器片1個及び墓穴から人骨片が出土しただけです。



弥生土器片



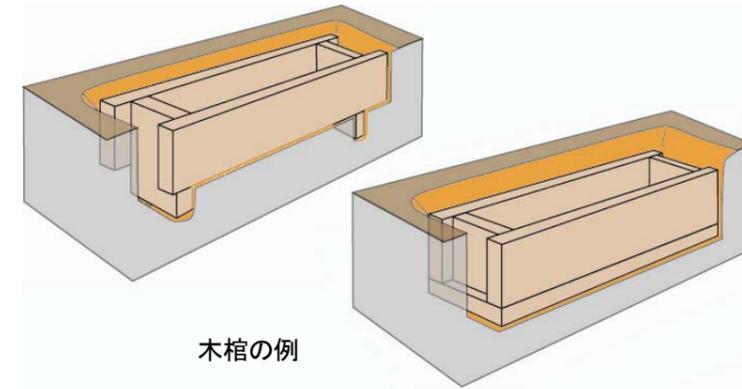
須恵器片



人骨（歯）

確認されたお墓の種類

琴平遺跡では、木棺墓と石棺墓のあとが確認されています。



木棺の例

木棺墓
木をくり抜いたり、木板を組み合わせてつくった棺やそのあとが確認できた墓を木棺墓といいます。



石棺墓（安佐北区 坊主山遺跡）
平らな石材を箱形に組み合わせた棺をもつ墓。

まとめ

- ・ 木棺墓や石棺墓18基からなる集団墓地がありました。
- ・ 墓穴の床面に遺体や棺に塗られていた朱（赤色の顔料）のあとがある墓が5基確認できました。
- ・ 後世のお社の造成の際に尾根が削平され、ほとんどの墓で石材が抜き取られていました。
- ・ 遺物がほとんど出なかったことや墓穴の状況から、弥生時代の集団墓地と考えられます。